

第7回 関川・姫川大規模氾濫に関する減災対策協議会 本会 開催概要

関川・姫川流域では、平成27年9月に発生した関東・東北豪雨での大規模な氾濫被害を踏まえ、地域全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築するための「関川・姫川大規模氾濫に関する減災対策協議会」を開催しています。令和2年7月に開催した「第7回本会」では、昨今の新型コロナウイルスによる状況を踏まえ、これから迎える出水期における避難のあり方など、緊急的に提供すべき情報について報告を行い、その内容について意見交換を行いました。

なお、本会議は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からWEB会議による開催としました。

開催概要

■開催日時 令和2年7月13日 AM10:00～11:00（WEB会議による開催）

■出席者

<構成機関>

上越市、糸魚川市、糸魚川市消防本部、
新潟県（上越地域振興局地域整備部、上越東維持管理事務所、
糸魚川地域振興局地域整備部）、新潟地方気象台、上越地域消防局、
高田河川国道事務所

<オブザーバー>

中部電力(株)再生可能エネルギーカンパニー長野水力センター

■資料配布による周知

<構成機関>

妙高市

<オブザーバー>

新潟県上越振興局農林振興部

■次第

1. 洪水ハザードマップの作成や周知・利活用 of 取組促進について
2. 感染症指定医療機関に対する災害リスク情報の提供・支援について
3. 避難所における新型コロナウイルス感染症への対応について
4. 大規模氾濫減災協議会の取組を通じた鉄道事業者等との連携について
5. 流域治水対策プロジェクト(仮称)について
6. その他

議事内容・意見等

- 次第1～6について、全構成員から了承を得た。
- 次第2について、新潟県立中央病院は避難計画策定済み。（上越市）
- 次第5について、流域治水プロジェクトは、新たな協議会を立ち上げるのではなく、本協議会にて進めていく旨、全構成員から了承を得た。
- その他自由意見等は以下のとおり。
 - 河川整備計画と流域治水プロジェクトとの整合はどうか？（上越地域振興局）→整合は必要であり、当面は整合に向けて今後検討していくという説明になると思う。（高田河川国道事務所）
 - 大雨特別警報発表直後の記者会見において、雨量の見通し等も説明いただけると良いと思う。（上越地域振興局）→記者発表自体は30分近く行っており、避難の呼びかけ以外に、雨量の見通しも説明している。恐らくメディアの尺の関係でその辺が放送されていないと考える。（新潟地方気象台）
 - 近年の出水被害を受けて、要配慮者利用施設においては避難計画の策定が義務化されており、先日の熊本豪雨では、避難に関する情報も事前に発出されていた、にもかかわらず被害が出たことは残念でならない。今後は、協議会等を通して、住民の意識を高めるための呼びかけ等が必要と考える。（新潟地方気象台）
 - 消防組織は事象発生後の活動がメインとなるため、事象発生時は情報を確実にかつ速やかに頂きたい。（上越地域消防局）
 - 上流域にあるダム の管理者として、今後も、上流河川の状況を適切に伝達していきたい。（中部電力）



【WEB開催による会議の様子】